



「歯の健康」から「全身の健康」へ

# これからの口腔保健



その4

## ✦ 歯周病と骨粗鬆症 … 骨粗鬆症患者 1100万人 (内女性患者 900万人)

骨粗鬆症は女性ホルモンの激減する50歳以降に多い

骨粗鬆症とは骨の形成と吸収のバランスが崩れることによって骨量が減少し、骨の微細構造が脆弱化する病気です。

全身の骨の状態は歯槽骨や歯と深い関係があります

骨粗鬆症に罹患している人は歯槽骨の吸収も大きい歯を失う人は全身の骨の骨密度も低下しやすい

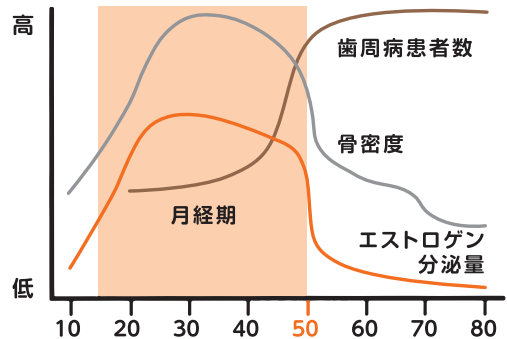
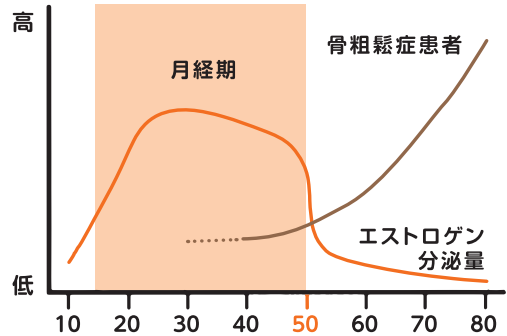
カルシウムが不足すると歯周病や歯の喪失にも影響します

カルシウムやビタミンDの摂取量が歯周病リスクや歯の喪失に影響  
カルシウムの食事摂取基準600～700mg/日  
(妊産婦は800～1200mg/日)

運動不足や過度の飲酒・喫煙もリスクファクターです

近年よく行われるようになってきたインプラント(人工歯根)も骨粗鬆症と密接な関係があります。

[ビスフォスフォネート系]と称される薬剤の投与を受けている、又は受けた患者さんにおいて、「顎骨壊死」「顎骨骨髓炎」が発現したと報告されています。報告された症例の多くは抜歯等の侵襲的歯科処置、義歯による褥創や局所感染に関連して発現しており、特に抜歯した場合にその部位付近で発生しています。



現在国内で販売されている  
ビスフォスフォネート系薬剤

(経口剤) ダイドロネル フォサマック ボナロン アクトネル ベネット 等  
(注射剤) アレディア オンクラスト テイロック ビスフォナール ゾメタ 等

## ✦ ドライマウス患者急増中! … 予備軍は 3000万人?

唾液が出にくく

口の中まで乾いてしまうドライマウス

「口が渴いて夜眠れない」

「ネバネバしてうまく喋れない」

「食べ物がうまく飲み込めない」など

ドライマウスの症状を訴える

年配の患者さんが急増中です!

糖尿病の影響

脳卒中の麻痺

筋力の衰え

口呼吸



ドライマウス

ストレス・緊張

癌治療などの放射線障害

シェーグレン症候群

薬の副作用

食生活・年齢

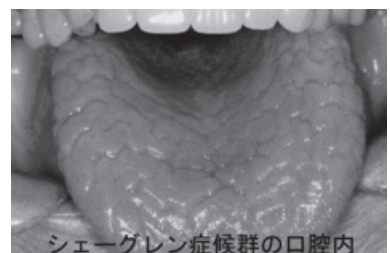
対策 ◎内科医師による糖尿病の治療 ◎保湿ジェル・人工唾液の使用 ◎漢方の処方 ◎ガム療法  
◎咀嚼筋・咬筋のマッサージ(リハビリテーション) ◎歯肉・舌・唾液腺のマッサージ ◎ブラッシング

## ドライマウス

唾液の分泌量が減少して口の中が渇く

歯周病の悪化

義歯の疼痛



シェーグレン症候群の口腔内

記事提供 (一社) 奈良県歯科医師会 出典: 『「歯の健康」から「全身の健康」へこれからの口腔保健』